

放課後等デイサービス

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども支援センターまあちる 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	7年 3月 1日		7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	7年 3月 31日		7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	7年 5月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士のチームワークが良い。	職員の共通理解を徹底して支援を行う事で利用者のお試し行動が減り、混乱が少ない。	落ち着いた空間の中で過ごす事で、見る・聞く・話す等の上達が期待できる。
2	急な利用追加や時間変更への対応力が良い。	敢えて大きな変化は最小限にし、利用時には一日の流れを作る。	一日の流れの中で食事、おやつ、机上活動時だけは、座っている時間と決めて座る事ができるようになる。
3	家庭的な雰囲気でお子さんが馴染み易い。	全職員が全利用者に対応できるようになる。	誰でも同じ対応ができる事で、利用者が安定して過ごせる。利用者一人一人が落ち着く事で泣いたり怒ったりの負の連鎖が起こらなくなる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	立地条件としてドアを開けて目の前が大通りなので、危険がある。	建物は変えられないので、利用者が玄関から飛び出すことがないように見守る。	室内でも楽しく過ごさせていけば外に意識が行かなくなるので、室内での過ごし方の工夫。
2	ワンフロアなので、大きな声や音が苦手な利用者の逃げ場がない。	一瞬で見渡せる利点もあるが、大きな声や音は拡がり易く、安定の妨げになる。	逃げ場として車の活用は効果的であるが、車に乗りたいたから大きな声で要求する等、誤学習にならないように注意する。
3	男性スタッフがいないので、災害時や緊急事態が起きたら不安	男女関係なく人材不足である。	働きやすくやりがいのある職場になると良いと思う。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子ども支援センターまあちる

公表日 8年 5月 26日

利用児童数 10名

回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1				指定基準の広さは確保しています。利用人数により狭く感じることがあるので分散して過ごす等、工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5			1		職員数は指定基準に基づいた職員を配置しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5			1	ちゃんと見たことがないのでわからない。	玄関がバリアフリー化されていません。車イスの方は不便をおかけしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	1				ホームページにて公表しています。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5			1		平日と休業日それぞれ工夫して支援しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。		1		5		公園等で地域のお子さんと遊ぶ機会があります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					契約時に人と説明しております。不明な点はいつでもお声がけください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1				研修へのご案内を行っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					送迎時やお電話等でも、愚痴やちょっとしたご相談でもお話をさせて頂いております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1		5		現在、行っていません。今後、検討して参ります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5		1		各マニュアルを策定しています。契約時に説明しています。いつでも、お声がけ下さい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5		1		避難訓練等、適時行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5		1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5		1		一人一人の成長に合わせた支援を心掛け、自立に向け、楽しく安全に生活できるよう配慮し支援して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	子ども支援センターまあちる		公表日			8年 5月 26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	7		利用人数が多い場合は、分散して過ごしています。車を利用する事もあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	設備類に名前を貼って覚えるきっかけしたり、気持ちや思いを伝える為の写真や絵を用意しています。	玄関がバリアフリー化されていない為、車イスでの出入りは不便です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		空気清浄器や加湿器を利用し、終業後の清掃、消毒は必須で、汚れがあれば、その都度掃除を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		不穏な状態になった場合は職員が付き添い、別室でクールダウン出来ます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎月のミーティングで意見交換する時間をもうけています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日頃から保護者の意見はミーティングで共有し、業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎月のミーティングで意見を出し合い、業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		職員の経験年数や保有する資格を考慮して参加しています。法人内研修も行っています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			作成、公表されています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		日々のお子さんの様子や保護者のニーズに沿った計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員の共通理解に基づいた上で計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援前に個々の支援の確認を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		支援計画と日誌等で確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月のミーティングと日々の事前ミーティングで行っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		毎月のミーティングと日々の事前ミーティングで意見を出し合っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		お子さんの状況やその日の体調、特性を考慮して、計画を作成し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		事前ミーティングで利用者の確認等、行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		振り返りを行い、日誌に残しています。参加できない職員は後日確認しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日誌に残しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリングを行って必要があれば見直しを行います。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		ガイドラインに沿って活動を組み合わせ、支援に生かしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		写真や絵、実物を見せて言葉で説明し、自己決定する事を経験しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		他事業所との会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		教育の関係機関からアドバイスをいただき連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校との連絡調整を密にしてトラブルが発生しないよう適切に対応しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			数年間卒業生がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			今後、助言をいただく機会があれば、是非お願いいたします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		公園等で地域のお子さんと遊ぶ機会があります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		パンフレット等をお渡ししています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明しています。質問があれば、都度お答えします。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談を行い、思いや意志を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		面談時に説明をしつつ、同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		面談時だけでなく、送迎時や電話等でもお話しさせていただきます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		7		現在、行っていません。今後検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		支援計画書の更新時に面談を行い、お話をさせていただいています。営業日以外でも連絡ができるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月のお便りやホームページで発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報は十分注意して取り扱っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			外国人の方も年々増えてきて、言葉の壁を感じています。制度等の説明が課題です。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		地域のイベントお祭りに参加しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各マニュアルを策定し、訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画を策定し、訓練等を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		連絡帳や電話で連絡、確認し、記録に残しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者を通じて医師からの指示をいただき対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画に基づき、安全管理がされた中で支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		面談時に周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		毎月のミーティングで共有し原因や対応策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修機会を確保し、虐待防止も適切な対応を行っています。セルフチェック等行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束が必要であれば、計画書作成時に保護者への説明と記載を行います。		

# 児童発達支援

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども支援センターまあちる 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	8年 3月 1日		～ 8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	8年 3月 1日		～ 8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	8年 5月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士のチームワークが良い。	職員の共通理解を徹底して支援を行う事で利用者のお試し行動が減り、混乱が少ない。	落ち着いた空間の中で過ごす事で、見る・聞く・話す等の上達が期待できる。
2	急な利用追加や時間変更への対応力が良い。	散えて大きな変化は最小限にし、利用時には一日の流れを作る。	一日の流れの中で食事、おやつ、机上活動時だけは、座っている時間と決めていることで座る事が苦手な子供さんでも時間をかけて支援する事でできるようになる。
3	家庭的な雰囲気でお子さんが馴染み易い。	全職員が全利用者を対応できるようになる。	誰でも同じ対応ができる事で、利用者が安定して過ごせる。利用者一人一人が落ち着く事で泣いたり怒ったりの負の連鎖が起こらなくなる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	立地条件としてドアを開けて目の前が大通りなので、危険がある。	建物は変えられないので、利用者が玄関から飛び出すことがないように見守る。	室内でも楽しく過ごさせていけば外に意識が行かなくなるので、室内での過ごし方の工夫。
2	ワンフロアなので、大きな声や音が苦手な利用者の逃げ場がない。	一瞬で見渡せる利点もあるが、大きな声や音は拡がり易く、安定の妨げになる。	逃げ場として車の活用は効果的であるが、車に乗りたいたから大きな声で要求する等、誤学習にならないように注意する。
3	男性スタッフがいないので、災害時や緊急事態が起きたら不安。	男女関係なく人材不足である。	働きやすくやりがいのある職場になると良いと思う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子ども支援センターまあちる 児童発達支援

公表日 8年 5月 26日

利用児童数 10名

回収数 8

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					指定基準の広さは確保しています。利用人数により狭く感じることもあるので分散して過ごす等、工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8					職員数は指定基準に基づいた職員を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7			1		玄関がバリアフリー化されていません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			1		ホームページにて公表しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					お子さんと保護者のニーズを聞き取り、日々の様子を職員間で話し合い支援計画を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			1		ガイドラインに沿った支援計画が個々の特性や環境に沿って設定されています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8					公園等で地域のお子さんと遊ぶ機会があります。
保護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			3	参加したことがないのでわからない。	研修へのご案内を行っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					送迎時やお電話等でも、愚痴やちょっとしたご相談でもお話をさせて頂いております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		4		4	参加したことがないのでわからない。	現在、行っていません。今後、検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1		各マニュアルを策定しています。契約時に説明しています。いつでも、お声がけ下さい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			1		避難訓練等、適時行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8				通所するのをとても楽しみにしている。	一人一人の成長に合わせた支援を心掛け、自立に向け、楽しく安全に生活できるよう配慮し支援して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				相談に乗ってもらい助かっている。いつも対応いただき感謝します。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	子ども支援センターまあちる 児童発達支援		公表日		8年 5月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		利用人数が多い場合は、分散して過ごしています。車を利用する事もあります。指定基準に基づいた広さは確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		指定基準に基づいた人員配置になっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	設備類に名前を貼って覚えるきっかけにしたり、気持ちや思いを伝える為の写真や絵を用意しています。	玄関がバリアフリー化されていない為、段差がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		空気清浄器や加湿器を利用し、終業後の清掃、消毒は必須で、汚れがあれば、その都度掃除を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		不穏な状態になった場合は職員が付き添い、別室でクールダウン出来ます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎月のミーティングや日々のミーティング等で意見交換する時間をもうけています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日頃から保護者の意見はミーティングで共有し、業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎月のミーティングで意見を出し合い、業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		外部評価は行っていません。今後、必要であれば、検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		職員の経験年数や保有する資格を考慮して参加しています。法人内研修も行っていきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		日々のお子さんの様子や保護者のニーズに沿った計画を作成し、更新しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員で意見を出し合い、共通理解に基づいた上で計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援前に個々の支援の確認を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		支援計画と日誌等で確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ガイドラインに沿った支援計画が個々の特性や環境に沿って設定されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月のミーティングと日々の事前ミーティングで行っています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		毎月のミーティングと日々の事前ミーティングで行っています。平日と休業日それぞれ工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		お子さんの状況やその日の体調、特性を考慮して、計画を作成し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		事前ミーティングで利用者の確認等、行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		振り返りを行い、日誌に残しています。参加できない職員は後日確認しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日誌に残しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリングを行い、保護者と確認しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		他事業所との会議に参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		保育や教育の関係機関からアドバイスをいただき連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保育や教育の関係機関と情報共有しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保護者を通じて相互理解に繋がっています。教育機関より、依頼がある場合は情報提供を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		今後、助言をいただく機会があれば、是非お願いしたいと考えています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	公園等で地域のお子さんと交流する事はあります。	一緒に活動できる成長段階に至っていない子どもさんも多く、小さな経験を積み重ねています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時には日々の状況等をお伝えしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		研修のご案内を行っています。簡単で負担にならないペアレントトレーニングの方法などはお伝えしています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明しています。質問があれば、都度お答えします。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談を行い、確認しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		面談を行い、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		面談時だけでなく、送迎時や電話等でもお話しさせていただきます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		現在、行っていませんが必要があれば、検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		支援計画書の更新時に面談を行い、お話をさせていただいています。営業日以外でも連絡ができるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月のお便りやホームページで発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報は十分注意して取り扱っています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			外国人の方も年々増えてきて、言葉の壁を感じています。制度等の説明が課題です。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		地域のイベントお祭りに参加しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各マニュアルを策定し、訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画を策定し、訓練等を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		連絡帳や電話で連絡、確認し、記録に残しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者を通じて医師からの指示をいただき対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画に基づき、安全管理がされた中で支援を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		面談時に周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		毎月のミーティングで共有し原因や対応策を検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修機会を確保し、虐待防止も適切な対応を行っています。セルフチェック等行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		身体拘束が必要であれば、計画書作成時に保護者への説明と記載を行います。		